

第3回庄川水系流域委員会 議事要旨

開催日時：令和4年7月29日（金） 13:30～14:30

場 所：富山河川国道事務所3F大会議室（Webを併用）

- 議事次第：1. 開会
2. 挨拶
3. 出席者の紹介
4. 規約
5. 議事（1）事業再評価
（利賀ダム建設事業）
6. 閉会

【議事結果】

1. 対応方針（原案）について

審議した結果、対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当である。

2. 議 事

（1）事業再評価について

[委員]

トンネルのズリのダム本体骨材への転用や、取水設備の簡素化などコスト縮減の記載があるが具体的にどの程度コスト縮減となるのか。

[事務局]

トンネル掘削ズリのダム本体骨材への転用で約13億円のコスト縮減が図られ、取水設備の簡素化についても通常の選択取水に比べて約11億円のコスト縮減が図られると試算している。

[委員]

新技術の積極的な採用等によるとあるが、具体的にどのようなものがあるのか教えていただきたい。

[事務局]

新技術については、今の工事でも実施しているが、今後コンクリートの打設、運搬設備についても今、最新のものをいろいろ取り入れてコスト縮減、スピード施工、安全施工といったことで進めていくことを考えている。

[委員]

便益の中に、最終的に国道471号線のバイパスが完成したときの便益については算定しないのか。

[事務局]

一般国道471号バイパスについては富山県の事業として別途富山県で評価を受けると聞いている。

[委員]

地盤それから地形について難しい現場条件だと思うが、今後もある程度想定される場所は幾つかあるのか、それとも予定通りに進みそうか。

[事務局]

今後施工にあたっては、不測の事態となる可能性もあることからそういったことへの対処についてもしっかり考えていきたい。

[委員]

転流工が完成し、約7年ほど仮排水路で水が流されるが、その間、魚とか自然環境に影響はないか。

[事務局]

環境についてはこれまでいろいろ多種多様な生態に対して調査しており、令和2年度に環境レポートという形で取りまとめた。その中で影響は少ないと判断している。

[委員]

関西電力の利賀ダム（俗称：豆谷ダム）が現在運用され環境のために維持用水などを流しているが、工事中はどのような運用になるのか。

[事務局]

ダム工事中は影響はない。

○事業評価の結果について

「利賀ダム建設事業」について、当委員会としては、原案のとおり事業継続が妥当と判断する。

本委員会の資料の取り扱いについて、資料の加筆修正について、事務局と調整のうえ、委員長の責任を持ってまとめ、本日の委員会の議事概要と併せて、ホームページに公開する。

また、事業再評価の結果については、北陸地方整備局の事業評価監視委員会へと報告する。

以 上